



「稼ぐ力」

代表取締役 山口 哲生

2022年は、多くの予想しないことが次から次に起こった年であったが、2023年は従来当たり前と思われたものや考え方にとって代わり、全く新しい価値観や製品が生まれると考えられている。

特に日本は30年にわたりデフレ状態が続き、その弊害として人にもモノにも投資せず、コスト一辺倒できた結果として国力を弱めたと言われている。コスト重視が単純に悪いというわけではなく、行き過ぎたことが問題だと言われている。

製造業においても、あまりに行き過ぎた「良いものを安く」の神話から「良いものは高く」という価値観に転換する必要があるのではないだろうか。多少の誤解を恐れずに言えば「コストダウン」から「稼ぐ力」へのパラダイムシフト(価値観の転換)に起こるべきなのではないかと考えている。

我々も2023年は完全週休2日制の導入を始め、一部の組織も改変し人事も刷新していくつもりであるがこれで十分と言うことは全くなく、その目的は営業力や総合力(エンジニアリング力)の向上、生産性の強化等々の具体的な目標をクリアしながら「稼ぐ力」を付けることにあります。

— 以上 —

Earning Power

The past year was full of unforeseen events, and say they now in the year of 2023 that totally new values and goods will replace old ones that were normal for long time.

Looking into Japan, they say the over-30-year serious deflation has prevented enterprises from investments on human resources and facilities and led to economic reduction as we paid too much attention to cost reduction.

In our manufacturing industry, the myth of “cheaper is better,” which has been believed too long time, must shift to new one, “better is costlier.” To say more baldly and clearly, we need to make these paradigm shifts happen from “cost reduction” to “earning power.”

When it comes to our company, we will start the five-day workweek system and partly reorganization of human resources, which are even not our final goals. All those effects should be made to bring improvement of sales and engineering skills, reinforcement of the productivity, and finally, of course, “earning-power” to us.

Tetsuo Yamaguchi
President, Kyowa Kikoh Co.,Ltd.

挑戦

KYOWA

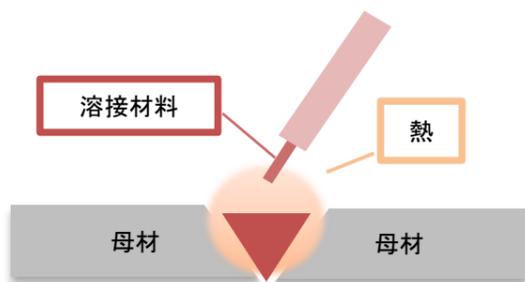
Vol.29 溶接について（教育の取り組み）

製品を製造する過程の一つが溶接です。溶接とは2個以上の部材の接合部に熱や圧力などを加え、一体化された1つの部材にすることを指します。弊社では、接合部に溶接材料を加えて一体化させる方法で溶接を行います。溶接は気密性・水密性に優れており、短時間で接合できる等の優れた特徴を持ちます。その反面、溶接による局所的な加熱・冷却によって、金属が変形収縮してひずみが発生し、寸法精度の維持が難しくなります。作業員の技量によって溶接部の健全性に差が出たり、施工管理を怠ると溶接欠陥が生じるなどのリスクがあります。

健全な溶接を行うために、入社後1年間かけてベテラン作業員による座学・実技講習を行う他、資格取得の推進など溶接の教育に力を入れています。弊社では、溶接に関する専門知識を持つウェルディングエンジニアが施工法の開発を行い、確立した施工法に基づいて溶接士が訓練し、社内にて認定試験を実施しています。一般的なJIS資格（作業員41名が取得）に加え、独自の社内認定試験を実施することで、多くの作業員が一定水準以上の技量で溶接できるような教育体制を整えています。

溶接関連の資格につきましては、作業員だけでなく管理者の資格取得も推進しております。溶接管理技術者（WES）は、技術知識と施工及び管理に関する職務能力を持った技術者のための資格です。工場認定や官公庁における工事発注の必須条件となっています。今年度は3名合格し、取得者は11名になりました。専門部署だけでなく、設計士や営業マン、作業員にもWES取得者がおり、全社を挙げて溶接に力を入れています。より良い製品を作るため、溶接に関する知識を深め、溶接技量の向上を目指し日々精進いたします。

溶接棒を使用する溶接



ベテラン作業員による講習



祝 新成人

去る1月7日（土）、今年成人式を迎える若手社員へのお祝いの授与式が執り行われ、山口社長からもお祝いの言葉が述べられました。そこで大人の仲間入りを果たした新成人の抱負をご紹介します。



◆R.O. さん (予算管理センター 工務課)

無事に成人を迎えることが出来ました。これまでお世話になった人達への感謝の気持ちを忘れずに、日々笑顔で過ごせるよう、全力走破で頑張ります！よろしくお願いいたします！！

◆T.I. さん (工作部 造機課造機4係)

自分のこれからの目標は、仕事を安心して任せさせていただけるようになることです。道具の使い方、仕事内容をしっかり覚え、効率良く動けるように頑張ります。

安全祈願

-prayer for the safety-

協和機工グループ全員が今年一年間けがや病気にかかることなく安全に働けるよう、そして会社が今後より一層繁栄していくよう祈願するために、去る1月4日(水)、山口社長をはじめとする協和機工幹部社員と協力会幹部が白岳神社にて安全祈願祭を執り行いました。



令和5年の干支 ～「癸卯(みずのと・う)」～

令和5年の干支は、「癸卯(みずのと・う)」と言います。「癸」は雨や露、霧など静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しています。「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があります。また、うさぎのように跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するのに縁起が良く、景気回復、好転するよい年になると言われています。卯年生まれの方は、愛嬌の良さと気配りの上手さで誰からも愛される人気者が多いそうです。

え？ネコ年？
世界でちがうんだ💡



世界の今年の干支は、ベトナム、チベット、タイなどの国々で猫年になっています。その中でも、ベトナムではうさぎがそれほど身近な動物ではなく、中国語でうさぎを意味する「mao」の発音が、ベトナム語の「meo」=猫に似ているからという説があるとされています。

KYOWA VIETNAM NEWS

テト(ベトナムの旧正月)

テト(旧正月)はベトナムで最も重要な祝日・祭りとされています。どんなに忙しくても、心配事があっても、ベトナム人は毎年テトを楽しみにしています。何千年にもわたって生活や習慣・慣習は変化してきましたが、テトの習慣は依然として大切にされています。

旧暦12月23日にオンコン・オンタオという神様を天国へ送った後、元旦に備えてどの家もかなり忙しくなるため、ベトナムでは仕事や学校があろうとも、通常1週間以上休みを取ります。テトで準備されるベトナムの伝統的な料理は、各地域によって違いはありますが、共通して鶏肉、もち米、餅、ごはんと一緒に食べるとおいしい料理になっています。北部では桃の花を飾り、南部ではテトを象徴するためにアプリコットの花を使います。テトは再会の日でもあるため元旦には家族全員が集まり、一緒に楽しい時間を過ごし、友人や隣人を訪ねる習慣もあります。

ベトナムの伝統的なテトは精神的、文化的に多くの意味を持つ特別な休日で、テトの温かい雰囲気は誰も忘れられないものです。

(Kyowa Vietnam NGO TAN HUNG)



NAGASAKIしごとみらい博(2022.11.19)

出島メッセ長崎で行われた、NAGASAKIしごとみらい博へ参加しました。今回は500名以上の参加があり、多くの学生様とお話することができ、貴重な機会となりました。



大村工業企業見学会(2022.12.12)



大村工業高校機械システム科の生徒20名を対象に企業見学会を行いました。OBや先輩社員も参加し、仕事内容ややりがいについて話してもらいました。

特定技能社員入社式

特定技能社員6期生1名が2022年11月24日、7期生3名が2022年12月22日、8期生3名が2023年2月5日に入社しました。将来ベトナムで活躍できる人材へ成長していくことを期待しています。



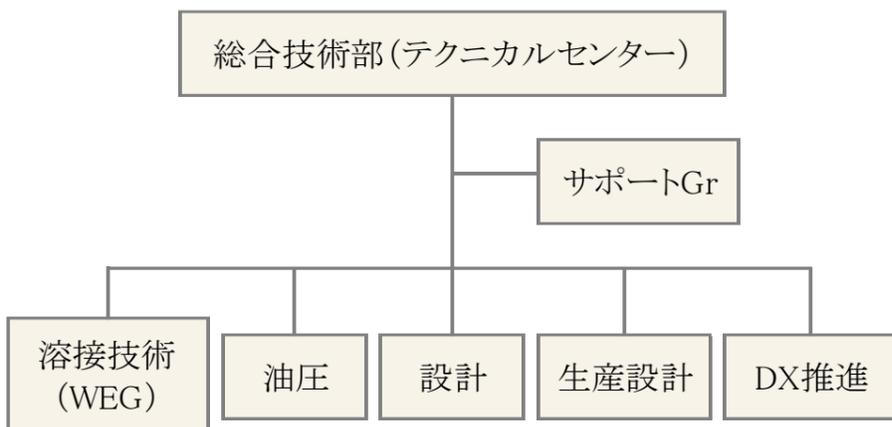
人事通信

—令和5年3月1日現在—

人事異動 (敬称略)

<組織改正について>

令和5年1月より、これまで各々で活動していた設計や溶接技術、油圧技術、DXGrにサポートGrとして工作や熟練技術者を加え、“総合技術部”(テクニカルセンター)として活動していくことになりました。



◆2023/01/04付

- 品質管理部 検査課
N.Q.K. (旧. 設計部 生産設計課)

合格おめでとうございます! (敬称略)

◆2022/12/13付 交付

- 第一種衛生管理者
H.Y. (管理部)

◆2023/03/01付 交付

- 溶接管理技術者2級
S.K. (工作本部 造機課造機3係 班長)
M.Y. (非破壊検査室)
M.N. (総合技術部)